

明海大学不動産学部

# 不動産の不思議

第270回

学生たちの視点と発見

## 【学生の目】

私が好きなゲームの一つに「MineCraft (マイクラ)」がある。自分で材料を探索し、建築するゲームで、すべての建材が立方体のブロックでできている点に特徴がある。初心者が何の工夫もしないで造った家はただの大きな四角い箱になり、「豆腐建築」と揶揄される。

先日驚愕したのは、実際にそつとした「豆腐ハウス」を目にしたことがある(写真)。祖母の家がある、おみ野周辺で見つけたものだ。陸屋

「ウス」という名称で、現在人気のデザイント」ということが分かった。

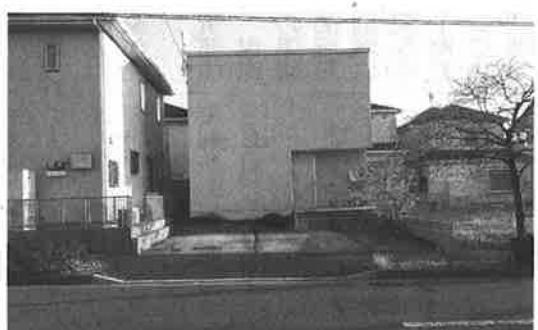
## キューブ型ハウス

このデザインが選ばれる理由は第1に、コストが安い。壁面の面積を最小限にすることに加え、陸屋根は材料も手間も掛からない。土に、デッドスペースがなくなる。

1に、コストが安い。壁面の面積を最小限にすることに加え、陸屋根は材料も手間も掛からない。土に、デッドスペースがなくなる。

もうとも、建てる際にひと工夫するのがよいのではないか。住宅の景観は、屋根の形に統一感のあるほうが美しい見える。かといって、キューブ型ハウスがずらりと並ぶ街並みが美しいとはいえない。

写真の住宅は寄棟の家の隣にあり、隣家のガレージのようにも見える。そこで、キューブ型ハウスを隣の家と補完するデザインにするとい



シンプルで現代風デザインとして人気のキューブ型

## 隣家と補完させるデザインで存在感

く見かける。新たに家を建てるときには建物単体としてよいデザインを考えるだけではなく、隣の家や駐車場など、周囲と統一感のあるデザインを提案したい。

### 【教員のコメント】

朽方 勇祐  
不動産学部2年

地が整形地の場合、四角い家が最も建てやすいし、柱の数も減らせるため家のなかが広くなる。第3に、構造耐力上の安定性が高く、屋根が軽いために耐震性も確保しやすい。シンプルなデザインが現代風であるとして、積極的に支援する声もある。なるほど、確かにキューブ型ハウスは特段悪い住宅というわけではない。キューブ型でも庇をつけたり窓

住宅の独立性と景観の多様性を実現できるのではないか。例えば、隣が白なら黒、茶色なら黒など色を考えることで、市松模様やモノトーンの統一感のある街並みになる。キューブ型がもつ、どのような形とも組み合わせの面白さを演出できる特徴を利用するのだ。

昭和の建築家、宮脇権はキューブハウスで一世を風靡した。卓越したデザイン力で平面と立面を律し、正方形や直方体が基調の力強い住宅に存在感がある。今にレビューするに、キューブ型ハウスに限らず、街並みに合わせて、周囲と補完、外構と連続するなど、一般化への工夫が必要だ。